

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 17

2008.1

Kashiwaba Neurosurgical Hospital

2008年 新春挨拶

地域の皆様の幸せを守る高度専門医療を

理事長・院長 金子 貞男

部門レポート／診療技術部 栄養科

KASHIWABA NEWS／新しいCTを導入 患者さんの負担軽減に





柏葉脳神経外科病院
理事長・院長
金子 貞男

Sadao Kaneko

地域の皆様の幸せを守る 高度専門医療を

明けましておめでとうございます。
2008年の元旦は天候にも恵まれ穏やかな幕開けになりました。地域の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになられたことと思います。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

私は、昨年の4月に理事長職を引き継ぎました。職責の重さが身にしみた一年でしたが、柏葉脳神経外科病院新体制が幕開けした年でもありました。新設した「物忘れ外来」「脳動脈瘤外来」では高度な専門治

療を行い、前理事長がレールを敷いた音楽療法も素晴らしい芽を吹きました。電子レセプト化も順調に進み、地域の清掃に取り組んだクリーン大作戦等も無事終了いたしました。

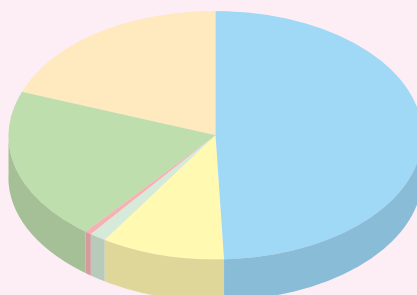
新体制における私の使命は、柏葉前理事長の「医療に対する理念」を引き継ぎ、更に発展させることであると改めて覚悟しております。

新たにスタートした2008年は、今までの医療制度改革の助走期間が終了し、具

手術件数統計

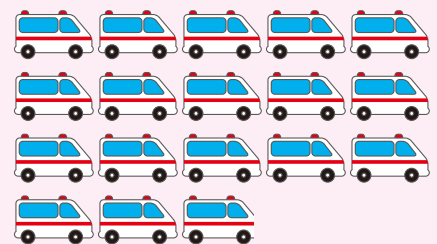
手術件数 383件

原因	(%)	原因	(%)
脳血管障害	49.3	機能的外科	0.5
脳腫瘍	9.7	外傷	19.8
脊椎脊髄外科	1.3	その他	19.3



救急医療統計

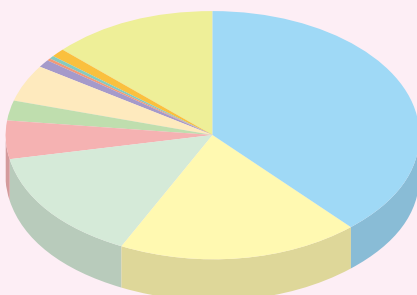
救急車搬送患者数 1,789人



= 100人

入院延患者数 47,112人

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	38.3	東区	1.0
清田区	18.9	西区	0.3
白石区	14.6	北区	0.4
南区	5.0	手稲区	1.1
中央区	2.6	その他	12.9
厚別区	4.8		



可能性を広げる 音楽療法の活用



体的な実施が目白押しに始まる年です。4月には医療費の改訂が待っており、す。「医療崩壊」「食品偽装の蔓延」などがまだ尾を引いており、不穏な状態が今後も続くようです。

しかしながら、いかなる困難があろうとも、私たちは「患者さんのための医療」をより良く実践するために、「医療者として誠実に真摯に向き合います。」

それは、柏葉脳神経外科病院の理念である「安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります」に徹することであり、患者さんが私たちの病院からご自宅へと帰られる時に「この病院に来て本当に良かった」と思ってもらえるような医療を提供することです。

2007年1月22日に病棟で開催されたコンサート

当院では音楽療法の医学的効果に注目し、脳神経外科治療の一環として音楽療法士による専門治療を行っています。道内で音楽療法を取り入れている脳神経外科病院はなく、その治療効果に高い関心が集まっています。

患者さんご家族、地域の皆様の幸せを守るために、全職員が心をひとつにし、専門知識と高度な技術を駆使しながら、これからも心の通う医療を提供し続けたいと思っています。

本年も何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2007年5月16日に行われた職員によるクリーン大作戦

「雪が解け目立ち始めたゴミを拾って、地域の皆様に気持ち良く春を迎えてもらいたい」との思いから、ゴミ袋と火バサミを手にした職員らが、病院近隣のゴミ拾いを行いました。



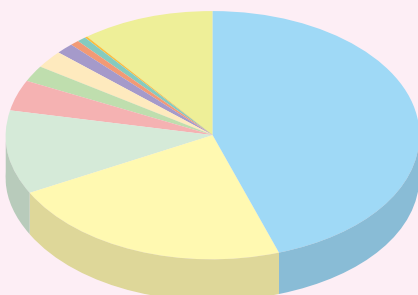
地域に開かれた 病院を目指します

柏葉脳神経外科病院 2007年実績

来院者数統計(地区別)

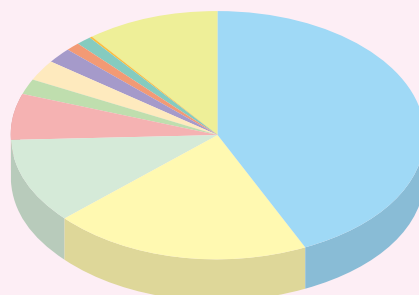
外来初診患者数 12,767人

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	44.8	東区	1.4
清田区	22.5	西区	0.7
白石区	10.9	北区	0.7
南区	4.0	手稲区	0.2
中央区	2.1	その他	10.4
厚別区	2.3		



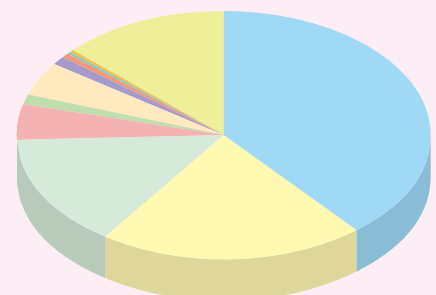
外来再来患者数 39,022人

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	43.0	東区	2.0
清田区	20.2	西区	1.1
白石区	11.1	北区	1.2
南区	6.0	手稲区	0.2
中央区	2.0	その他	10.4
厚別区	2.7		



新入院患者数 1,821人

地域	(%)	地域	(%)
豊平区	38.9	東区	1.1
清田区	20.8	西区	0.6
白石区	14.7	北区	0.3
南区	4.6	手稲区	0.3
中央区	1.3	その他	13.0
厚別区	4.4		



病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

部門レポート

診療技術部
栄養科

科長…安江千歳（管理栄養士）
スタッフ……………
管理栄養士 3人、栄養士 5人、
調理師 4人、調理員 1人

食は、疾患の予防や
治療の一役を担うものです

病状に合わせた栄養計画を

入院中の患者さんの栄養ケアは、主治医が示す診療計画に沿って、薬物療法やリハビリとともに行われています。

入院早期から社会復帰に至るまで、医師・看護師・薬剤師・リハビリテーションの各療法士・医療ソーシャルワーカーなどの多職種がカンファレンスや回診を通して協働し、多角的な視点で患者さんの栄養状態を評価し、随時栄養計画の見直しを行っています。このため、栄養補給の方法・食事形態・栄養提供量などは、患者さんの病状や栄養状態に合わせて選択されます。

そして栄養計画は、臨機応変に対応できる力を持った給食管理・調理担当者が献立や料理に反映させて、患者さんに治療食として提供しています。

食習慣改善の目安に

食は生きる力の源であり、疾病の予防や治療の一役を担うものです。患者さんが減塩食や糖尿病食などの治療食を入院中に体験することで、病状に合った食習慣を学習され、今後の生活に生かしていただきたいと願いながら日々仕事に取り組んでいます。



食生活の見直しと今後の疾患予防に役立てていただけるよう、患者さんやご家族に面談指導を行っています

KASHIWABA NEWS

新しいCTを導入
患者さんの負担軽減に

2008年1月に導入したマルチスライスCT [Aquilion Multislice 64]は、世界で唯一、0.5mmスライス幅で撮影することができるため、脳血管領域での微細な血管構造の抽出が可能となりました。検査効率が格段に向上したことにより検査時間も短縮され、患者さんの負担軽減に貢献しています。



※当院では、地域の医療関連施設からの検査依頼を受けています。

編集後記

新しい年が明けました。札幌は雪こそ例年より少ないものの寒い日が続いておりますので、体調管理には十分ご留意ください。
当院は今年、医療機能評価機構の再々受審を始め様々な課題をクリアしていかねければならない年となります。皆様と共に歩むために、日々の研鑽にいつそう努めたいと思っております。今年も皆様にとって良い年となりますように。

(小川)